

広場イベント分電盤 設計・施工案

■計画概要

- 現状、広場電源は公共用コンセント9回路を借りている状態であり、民間用は将来対応として未設置。
- 社会実験2期(2025年度~)において、電源設備を実装することでイベント主催者の発電機持込の負担を軽減する。  
※対応可能は最大50KVA ←みなみフェス級イベント必要分の約半分
- 候補地の空配管対応済3箇所(E1階段南・喫煙所南・E10階段北)のうち、テラスベンチに近くほこみち区域内のE10階段北で検討。以降はイベント主催者側対応(床ころがし、仮設分電盤持込、等)とする。



■基本的な課題

○ほこみち制度の占用物件の中に分電盤と読み解ける記載が無い。(建設局)

項目	制度(事業)概要	場所	占用許可期間	占用物件	道路の構造に関する基準
歩行者利便増進道路(道路法) R2~ <b>新規</b>	道路管理者が歩行者利便増進道路を指定し、利便増進誘導区域を設けることにより、オープンカフェや露店等の設置にかかる道路占用許可基準(無余地性)を緩和する制度	利便増進誘導区域	20年(公募占用の場合)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広告塔又は看板(良好な景観の形成又は風致の維持に寄与するもの)</li> <li>・標識、旗ざお、幕及びアーチ</li> <li>・ベンチ、街灯その他これらに類する工作物</li> <li>・食事施設、購買施設その他これらに類する施設</li> <li>・自転車駐車器具で自転車を賃貸する事業の用に供するもの</li> <li>・集会等の催しのために設けられる露店、商品置場その他これらに類する施設</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「移動等円滑化のために必要な道路の構造に関する基準」への適合義務</li> <li>・歩行者利便増進施設等を設置するための滞留の用に供する部分の設置規定</li> </ul>

- ・ほこみち占用の場合、他地域で読み解いた事例が見つければ問題ない  
→無ければ、社会実験の中で手順を踏んで可能性を探らなければならず、今年春には困難
- ・ほこみち区域外(E1付近等)で一般占用するには、事例が無く困難
- ・ほこみち区域外で道路施設として設置するなら占用はクリア →計画が無くすぐには困難(計画調整局マター?)

- 2024年度予算消化目的であるが、工事は2025年3月末~6月頃と想定されること。
  - ・社会実験2期事業者正式確定以降でなければ工事契約できないため。
  - ・着手金の割合を多くして対応するしかなくリスクあり。全額前払いは危険。→2025年度予算も食われる
- 広場本体外工事の行政検査・引渡(2024年度末)や1年後検査に支障のないことが条件。
- 舗装完成(引渡)後、通常は掘削規制(7年?)がかかるため協議が必要。
- 地下街との近接協議に時間を要する。(荷重や工事影響、2~3カ月?)
- 使用期間1年以上の前提のため、社会実験が単年度でないこと。(1年未満の場合は負担金、電気代とも高額)
- 将来、分電盤を更に増設する場合は、使用者名義を別にしなければならない。(一敷地一引込の原則)
- 社会実験2期終了後に原則は原状回復の義務あり。
- そもそも資産や占用物を持つこと自体の課題

■進め方(案)

- 実施主体は準備委員会(南海電鉄:事務局・実務、ハートビートプラン:補佐・会計・事務処理等)
- 設計業務を先行実施 →E-DESIGNに依頼
  - ・随契理由: 当広場整備において行政や関電、地下街との協議実績を持つ。
  - ・委託内容: 設計の他、行政等協議の補助、見積要項書作成
- 施工会社は可能なら見積合わせ。候補は当広場施工実績を持つ三浦電機に加え、南海や幹事会の推薦業者  
※ただし、基礎や埋設配管工事は責任一本化のため指定業者(大林道路)に実施させる。

○想定スケジュール

・設計	並行し関係先協議	1カ月
・見積合わせ	時間がない場合1社随契	1カ月
・工事契約		上記に含む。期限3月末まで
・製作図作成	並行し地下街協議	1カ月
・機器製作	〃	2カ月
・設置・調整		0.5カ月
計5.5カ月、うち社会実験2期事業者確定後3.5カ月		

■設備設計条件(案)

○総容量は関電側が対応可能であれば低圧引込上限の50KVA

○供給先は将来を考え、イベント以外も対応しておく。

- ・イベント用(大容量)      ブレーカ+接続端子 ※将来容量ダウン
- ・将来建物用                ブレーカ
- ・デジサイ用                ブレーカ
- ・イベント用(小容量)      ブレーカ+コンセント2口×2回路

○予備スペース確保

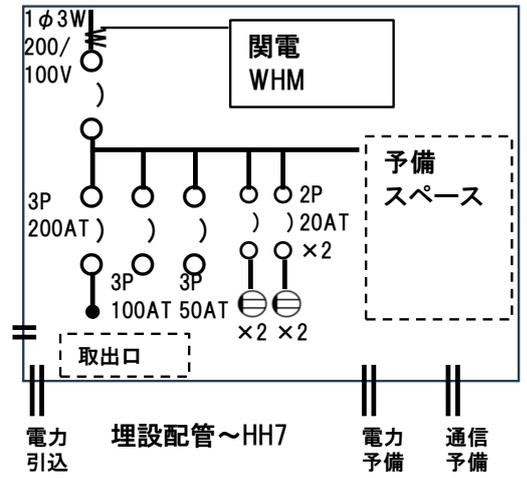
○HH7から埋設配管3本新設

- ・電力引込用
- ・予備(電力)
- ・予備(通信)

○分電盤イメージ

子メータ、通信端子等想定

→右図



■ほこみち区域外に設置のケース



※検討を深めるには設計業務の中で行う

【案②】



【案③】



以上